

定番リネンの特長

草の皮からできています。

リネンは亜麻科の一年草で、その主産地は比較的寒い地方が多く、主にフランス北部・ベルギー・ロシア・東欧諸国および中国といったところでは、1メートルほどの高さに育ったマツチの軸くらいの太さの茎の靱皮から採取した繊維を紡績して、糸に加工されています。

人類最古の繊維です。

人類がリネンを使い始めたのは、約1万年前のこと。世界文明発祥の地チグリス・ユーフラテス川にリネンは芽生え、人類最古の繊維と言われています。古代エジプトでは、リネンは「月光で織られた生地」と呼ばれ、広く神事や、ミイラを巻く布としても使用されていました。古代ギリシャ・ローマでもリネンが重宝されていました。

世界最高峰のヨーロッパ製です。

最もリネンに適した環境の産地ベルギー・コルトレイク。SAORIの定番リネンは、コルトレイクの老舗企業ヴァネス社製のリネンを輸入し、日本国内で撚糸・染色加工をしているので、手織り用リネンとしては世界最高峰のSAORIオリジナル糸です。

リネンは肌にやさしい繊維です。

リネンは、肌にやさしく、爽やかな涼感があるのが大きな特長です。コットンやシルクよりも吸水・発散性に優れているため、肌に密着せず、汗でべとついたり蒸れたりすることがありません。さらに防カビ性にすぐれ、雑菌の繁殖も抑制するため、臭いも抑えてくれます。湿度の高い日本の夏には最適な繊維と言えます。さらに、リネンは触れてもチクチクせず、常にソフトです。繊維の中に空気が含まれていて、天然のサーモスタットの役目を果たします。寒い季節には暖かく包み込んでくれます。リネンは夏専門の素材のように思われがちですが、オールシーズンに適した、素晴らしい繊維なのです。

縮絨が楽しみです。

縮絨前は、シャキッと少し硬い感じのするリネンですが、軽く縮絨すればシャリ感を維持した作品に、また、しっかり縮絨すれば、ふんわり柔らかな風合いに変化します。リネンは縮絨効果を色々と楽しめる面白い繊維です。